

## 目的

福島県会津地方南部において分布拡大を続けるニホンジカの森林被害対策のため、**遺伝解析**と**現地調査**から問題解決に貢献する。

## 本事業で学んだこと

南会津町はシカによる森林被害対策の最先端地域であること学び、今後の拡大を考慮するとその**管理・モニタリング**方法を広く周知する必要があると考えた。

## 活動報告① 現地視察

→南会津町調査 22.10.18～21

### ・シカ柵

農林業被害防止のため南会津町の地域の方々協力のもと作成した**高さ約1.5mほどのシカ電気柵**を見学させていただきました。



### ・シカ捕獲罠

シカ捕獲のために設置した罠を見学させていただきました。**罠は板とワイヤーで構成**されていて、シカが板の上を踏むとワイヤーが足に絡みつく仕組みとなっています。



### ・ライトセンサス調査

夜間に手持ちの**ライト**を使用してシカの**個体数を数える**という調査に参加させていただきました。一晩で**30頭**ほどのシカを確認することができました。

## 活動報告② 研究成果報告会

→南会津町訪問 22.12.14

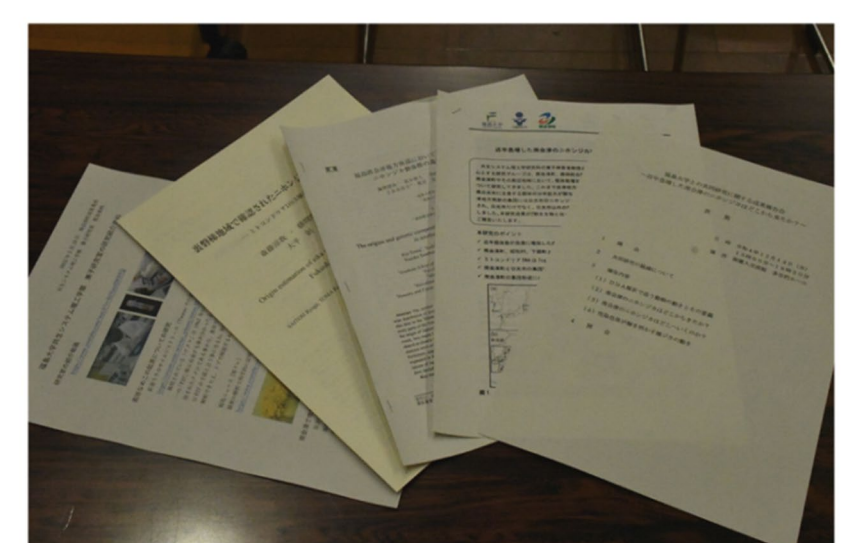
### ・発表

南会津町と私たち福島大学SDCsの共同研究成果報告会を開催しました。町人の方々や県・国の役員の方々を含めた約**80名**が参加しました。普段私たちが研究している南会津の**シカの遺伝解析結果**と今回の助成事業で行った**現地視察の報告**を踏まえて発表し、**ディスカッション**をすることに成功しました。



### ・論文普及活動

・藤間ほか2021  
・斎藤ほか2022  
メンバー著者のシカ遺伝解析研究論文を**80部**ほど印刷し**南会津町の方々に普及**しました。



## 森林自己学習支援事業を通して

- ・シカの森林被害について理解が深まった！
- ・南会津町のシカ管理に貢献できた！